

Vol. 10  
2018.

3



TIMES

HAGIWARA

女性技術社員特集

“ありがとう”を未来へつなく

100<sup>th</sup>  
Anniversary

# 女性技術社員特集

Vol. 10 2018.3

今月は雛祭り企画として“女性技術者の本音”を探るため、4名の技術者に集ってもらい座談会を開催しました。その内容を社員紹介と併せてお届けいたします。



——まず、女性技術者として建設業で発揮できる強みを教えてください。

小泉 優香<建築部・以下:小泉>：強み... 難しいテーマですね。実は、「女性ならではの良い発想だね」と言われることは多いのですが、自分ではそれが何か気がつかないんですよ。

上野 菜月<建築部・以下:上野>：私も「細かなことに気がつくね」と職人さんから言われるのですが、個人的には普通感覚だと思って仕事をしているので“強み”とまで感じたことはないです。

関川 早希<建築部・以下:関川>：私はまだ経験が浅く、強みを見つけるにはまだ時間が必要だと感じています。

林 真弓<土木部・以下:林>：私は女性らしさを前面に出すのは少し違うかなと思っています。女性がいるから事務所が綺麗かという、そうでもない時もありますし(笑)ただ、顧客や職人さんに顔と名前を直ぐに覚えて貰えるというのはありますね。

——そうなんです。私たちから見ると、危険予知の目線などは男性と違った捉え方があると思っています。それが、当社の強みの一つ安全管理力にも繋がっていると思います。

林：私たちが、特別に女性を意識しないで仕事を行っている結果が、会社全体や業界の発展に繋がっているならば嬉しいですね。

——そうですね。次に現場でのやりがいや印象に残っていることを教えてください。

林：私が一番やりがいを感じる瞬間は工事完成時ですね。広尾自動車道を担当したときは、供用開始後、友達を呼んで車に乗せ施工場所を説明しながら走りました。街の利便性が向上したと実感できた瞬間が技術者としてのやりがいだと思います。

小泉：私は、内装や建具がどんどん入ってきて完成に近づいてきた時ですね。建物に命が入っていくような工程を体験できるのも建築技術者のやりがいだと思います。

関川：私は、入社後最初に改修工事を担当したのですが、工事開始前と完成でこんなに違うのかと驚いたことが印象に残っています。全く違う建物に蘇りその建物で子供たちが楽しそうにしているのを見た時はやりがいを感じました。

上野：これは印象に残っていることなのですが、発注者側で女性監督さんがいらしたのですが、その方は発言力とやわらかい雰囲気と双方兼ね備えていて、仕事で求められる女性らしさとはこういうことかなと目標ができたことですかね。

小泉：これから多くのやりがいや出会いを経験すると思います。それらを積み重ねて、これから建設業界に入る女性技術者にも伝えていきたいですね。

※座談会は盛り上がり2時間以上となりましたが、紙面の都合上一部のみ掲載いたしました。

## 萩原建設工業株式会社 『北海道なでしこ応援企業』を受賞

平成30年2月3日(土)、当社は北海道知事より『北海道なでしこ応援企業』として表彰を受けました。この制度は“男女がともに働きやすい職場づくりを促進する為、育児休業制度等の取組など、女性の職業生活における活躍を推進し、積極的に取り組んでいる企業”が認定されるもので、当社の女性や若手社員の能力向上にむけた資格取得助成や資格取得後の表彰・手当等の諸制度が高く評価されました。現在、当社には技術職の女性社員が4名在籍しており、現場作業所に女性用トイレや休憩室を設置するほか、インターンシップで女性の積極的な受入を行うなど、女性活躍を積極的に推進しています。また、就業規則に育児・介護休業規定が法を上回る内容で整備されており、育児手当や介護手当等の社員の経済的保護にも取り組んでいます。当日は札幌エルプラザで行われた【さっぽろ女性応援 festa】の中で、高橋はるみ北海道知事より当社社長に表彰状と記念品が手渡された後、記念撮影時に「萩原建設工業の幅広い活動に期待している」とのコメントもいただきました。当社は創業100周年を迎えるにあたり、安心安全なインフラ整備に努めるとともに、業界内における女性技術者や若手社員への育成支援等に、これまで以上に取り組んでまいります。



### 林 真弓 <はやし まゆみ/所属部署：土木部>

- 入社年月日：平成22年4月1日
- 取得資格：1級土木施工管理技士
- 経験した現場：大樹沖増殖場造成  
帯広広尾自動車道朝日32号改良  
国道38号清水町清見橋災害復旧  
国道38号清水町小林橋下部 他
- 趣味：ゲーム・カラオケ・カラアゲ
- 建設業を志したきっかけ  
子供のころから家庭科より技術の授業が好きで自然と工学の道へ進みました。最終的に建設業に決めたきっかけは、大学の実習でトンネル施工の見学会があり、その時見た大きな機械と作業状況の迫力に憧れて決心しました。



### 小泉 優香 <こいずみ ゆうか/所属部署：建築部>

- 入社年月日：平成24年4月1日
- 取得資格：2級建築施工管理技士
- 経験した現場：コムコの里まくべつ新築  
ネットヨタ ウエストワード店新築  
つうけん帯広社屋・倉庫新築  
障がい者支援施設あさひ荘改築 他
- 趣味：文房具(かわいい)集め・スヌーピー
- 建設業を志したきっかけ  
創路出身の建築家、毛綱毅(もすなきこう)氏が設計施工した住宅を、小学生の時に見学させてもらえる機会がありました。その時は建築家は夢のある仕事だなと思う程度でしたが、私の出身中学校の設計が毛綱氏だと知った時、運命(笑)感じ建築の道を進むこととしました。



### 上野 菜月 <うえの なつき/所属部署：建築部>

- 入社年月日：平成28年4月1日
- 取得資格：二級建築士
- 経験した現場：原野漁港人工地盤外仕上  
陸別町農協哺育・育成舎新築  
鹿追町健康増進センター新築
- 趣味：映画鑑賞・旅行・美術館巡り
- 建設業を志したきっかけ  
人々が安心して暮らし、快適に活動することのできる空間を提供できる点に建設業の魅力を感じたからです。



### 関川 早希 <せきかわ さき/所属部署：建築部>

- 入社年月日：平成29年4月1日
- 取得資格：取得挑戦中
- 経験した現場：トマリリゾート施設改修
- 趣味：カラオケ(HY・Superfly・aiko他)・お酒
- 建設業を志したきっかけ  
人々の生活を守る建物を建てている監督さんや職員さんを見て、憧れを持ったことが建築学科で学ぶことを選択したきっかけです。

# 誰もが行ける宇宙を!!



インターステラテクノロジズ株式会社  
代表取締役社長 稲川 貴大

“誰もが宇宙へ行ける未来”の実現を目指し、十勝から日本の宇宙産業を盛り上げているインターステラテクノロジズ株式会社様(以下、IST)を、当社は出資という形で応援させて頂きました。2月某日、ISTについてもっと知りたいという想いから、インタビューに行ってきました。今回は特別企画としてIST特集をお届けします。

冒頭「すべてはアパートの狭い風呂場から始まった」とIST社長の稲川貴大氏は笑顔で話してくれた。当時、小型の低コストロケットの重要性にいち早く目を向け、民間初の宇宙開発に動き出したのが『なつのロケット団(現在のIST)』で、稲川氏もそのチームのひとりだった。

開発当初は、アパートの狭い風呂場で火を使わないエンジンの水流し実験を何度も繰り返し行っていたという。この時の稲川氏はまだ学生だった。

2006

年、堀江貴文

氏の働きかけてロ

ケットエンジン開発が事業化

され、なつのロケット団の本格的な

宇宙開発がスタートする。その後、開発拠点

を北海道赤平市へ移し、2011年3月に北海道大樹

町にて最初のデモンストレーション打上げ機『はるいちば

ん』の打上試験に成功した。そして、ロケット産業に適した日本の

中から地理的に恵まれ、宇宙のまちづくりを推進していた大樹町へ2013

年に拠点を移しISTを設立、宇宙開発を専業に行うようになる。インタビューの中

で、将来的に多種多様なロケットが打ち上げられると、宇宙空間で衝突するのでは?と

質問すると、「計算上は衝突する確率は非常に低いです。そのリスクを考え打ち上げない、という

選択はしません。皆さんも普段の生活で交通事故に遭うことを恐れて外に出ない、とはならないですよ

ね」と笑いながら答えた。ISTのロケットはどれもユニークなデザインと名前が特徴的で、開発者は可愛らし

くインパクトのあるものを生み出すことにこだわりを持っている。稲川氏は、5号機『ひなまつり』の打上げ失敗に強い

思い入れがあり、この時の経験が今のマインドを形成している、と振り返る。今後の展望について何うと、「宇宙産業はまだ

まだまだプレイヤーが少ないと感じています。幅広く多様なプレイヤーが増え、競い合うことで産業が成長すると考え、ISTは積極的

な情報発信に取り組んでいます。宇宙産業の成長は様々な分野の発展に繋がり、最先端の技術を取り入れた低コストロケットを量産し打上

げ、想像もできないような革新を生み出していくことがやるべき事だと考えています。将来的には人を宇宙へ運ぶことや資源探査への貢献など

を実現することが目標です。」と稲川氏は熱い想いを話してくれた。

提供:インターステラテクノロジズ株式会社

萩原建設工業 Facebookページは毎週更新中!! 是非チェックしてみてください!!

## 今月の表紙

撮影:萩原建設工業 建築部・仁藤 正憲

今月は桃の節句です。桃の節句は女の子の節句! 今月の表紙は私の家の雛人形を撮影しました。

御内裏さまには申し訳ないですがお雛様に焦点をしっかりと当ててみました(笑)

当社も先月の3日に高橋はるみ北海道知事より北海道なでしこ応援企業の表彰を受けました。

さらに男女の隔てなく働きやすい会社になれば良いなぁと思うところです。



# HAGIWARA INTERNSHIP開催中

## 札幌開催 & 帯広開催

交通費・宿泊費支給!! 友人同士の参加もOK!! 無理な勧誘一切ナシ!!



詳細・お申し込みは  
 マイナビ2019  
当社ページより!!

